充実した子育て支援・教育・福祉政策を目指して

4年間の活動で、最も力を入れたのは、子育て支援、教育、福祉政策です。 一般質問では、福祉政策について多くの時間を費やしました。 また、中央児童相談所、千葉県ひきこもり地域支援センターを視察するなど、福祉施設・支援機関の現場に幾度も足を運びました。

酒々井小の通学路が危険だという保護者からの訴えから、信号設置を実現。

2019年12月16日
千葉県中央児童相談所を視察

宗吾参道のエレベーター設置の要望を、議会やパブコメにて町に訴えました。

当事者の声に耳を傾け、現場を見る政治を目指して

この４年間の大半はコロナ禍でした。未曾有の危機に対応するため、**多くの支援の現場、多くの当事者の声を聞き、支援活動や政策提言をして参りました。**

2020年4月20日
コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守る何でも相談会（**テレビ朝日で私が相談を受けている場面が放送されました**。上記QRコードで動画が見られます）

2021年4月6日
印旛保健所とコロナ対策について意見交換

2021年2月9日、2月14日、2月21日
コロナ禍で影響を受けた事業者、シングルマザー、福祉相談職、障害福祉施設などへのオンラインヒアリング

酒々井町と国・県を結ぶ

立憲民主党では、酒々井町の要望を実現するために、毎年「出前立憲民主党」を行っています。**国会議員・県議会議員・町議会議員とそろって酒々井町の要望をヒアリングし、要望実現に向けた活動をしています。**

2020年8月4日　酒々井町役場にて

発行者　白井のりくに事務所
酒々井町東酒々井1-1-133-101　TEL 043-488-4633　FAX 043-488-4634

＜発行＞立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
Tel.03-3595-9988 Fax03-3595-9088

＜連絡先＞白井のりくに事務所
〒285-0923
千葉県印旛郡酒々井町東酒々井1-1-133-101
Tel.043-488-4633 Fax043-488-4634

2023年4月15日号 号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主党は、酒々井町議会議員選挙において、

白井のりくにさん

を公認候補者として決定しました。
白井のりくにさんが取り組んできた政治・重点政策についてご紹介致します。

住民の意見で輝くまち

市民に寄り添い 必要な政策を提案
笑顔あふれる 暮らしやすい 酒々井に！

今は、「自己責任社会」と言われています。
少子高齢化と言われ、その対策が必要にもかかわらず、子育て、家庭と仕事の両立、介護などにおいて、個人での対応を余儀なくされました。その結果、多くの方が困難に直面し、将来に不安を抱えながら生活しています。
不安を抱えていては、安心して生活は送れません。しっかりとした公的サポートをすることで、無理をしなくても、安心して生活が出来るように、社会を変えていく必要があります。
そのためには、**皆様が抱えている問題や不安の声に耳を傾ける政治が必要です。**そこで初めて、住民にとって本当に必要な政策を立案することができるのです。
皆様のお声を、是非お聞かせください。

白井のりくにプロフィール

昭和４９年５月２４日　東京都北区で生まれる
平成１１年　東海大学理学部物理学科　卒業
平成２６年　司法書士白井則邦事務所　開業
平成３１年　酒々井町議会議員初当選
全国クレサラ・生活再建問題対策協議会会員
成年後見センター・リーガルサポート会員
酒々井町商工会会員
酒々井町空家等対策協議会委員（平成29年度）
酒々井町地域学校協働本部運営委員（令和２～４年度）
【家族】　妻、子ども（中学生）
【趣味】　読書、写真、将棋、空手、釣り、料理
【愛読書】銀河英雄伝説、スラムダンク、三国志、論語

白井のりくに　４年間の取り組み

４年前の選挙時にお約束した提言を実現するために、一般質問や討論などの議会活動、職員とのやりとりや、住民との交流をして参りました。特に、子育て、教育、福祉、災害対策、公共施設（新規施設の必要性・老朽化した施設の管理）の問題に力を入れました。

私も多くの提案をしましたが、下記のようにいくつかの政策が実現しました。また個別の陳情について町へ伝え、解決に寄与することもありました。一個人ではできない、様々な政策を実現することが出来たのは、ひとえに、ご支援頂きました皆様のお力です。ありがとうございました。

【実現できた政策】

●子ども・子育て世帯関係
- 酒々井小通学路（旧51号線）に信号・横断歩道設置（写真①）
- 国道296号線下台丁字路付近に伸びていた草や枝を除去（写真②）
- 酒々井町奨学給付金創設
  ※ 児童扶養手当の支給対象世帯などを対象に、高校進学の入学金や学用品等の購入に充てるための、10万円上限の給付型奨学金
- 小中学校の児童用机に、パソコンを無理なく置けるようにするための、天板を拡張する器具の購入（写真③④）
- 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金（10万円）について、所得制限により支給対象外とされた児童への給付金支給
- 酒々井中学校の制服運用が変更され、女子生徒のズボン着用が可能に

●コロナ対策・困窮者支援
- 検査キットの無償配布
- 生理用品の無償提供

●まちづくり・災害対策
- 馬橋川の流水機能の確保（写真⑤）
- 家具転倒防止器具の購入費を、１万円助成する制度創設（写真⑥）
  ※ 年齢などの制限なく、住民なら誰でも使える購入費助成制度
- 空き家バンクの設置

①通学路への信号設置

②下台丁字路付近の枝草の除去

③児童用机の天板（ボランティア作業中）

酒々井の未来のための5つの重点政策

子どもが幸せに育つまちへ

●公園の遊具の充実　●児童館などの子どもの居場所づくり
●学校の先生の負担軽減　●通学路の安全確保
●就学前教育の充実　●児童のインフルエンザワクチン補助
●給食費無償化　●養育費の確保
など、子どもたちのための政策に取り組みます

高齢者が暮らしやすいまちへ

●バリアフリー化の推進　●介護する家族への支援制度の充実
●社会からの孤立を防ぐための見守りネットワークの構築
●高齢者の移動手段の確保
など、高齢者の暮らしを守る政策に取り組みます

住民の意見が反映されるまちへ

●行政による地元説明会　●議員報告会の実施
●住民が政策に参加できる制度創設
など、住民参加による草の根民主主義を実現します

多様性を認めるまちへ

●パートナーシップ制度　●ノーマライゼーションの積極的な取り組み
●差別禁止条例　など、多様性を認める政策に取り組みます

未来へ繋がるまちへ

●老朽化した公共施設の改築・統廃合　●中小企業支援
●充実した行政を継続させるための非正規公務員の待遇改善
●介護・子育てが無理なく出来るような社会への意識啓発
●健康と環境に配慮した高断熱住宅の推進　●災害対策
●インボイス制度反対　など、未来へ繋がる政策に取り組みます

④児童用机の天板

⑤馬橋川の水路工事

⑥家具転倒防止器具